

「生涯学習の方法—学ぶ人と援助する人のマニュアル」土橋美歩著、学芸図書、一九九八年一月刊、A五版、一四三頁、一四〇〇円

実際に学習している人はいっぱいいる。本人は「生涯学習だ」なんて思っていないかもしれないが。しかし、なかには、学習情報の不足などから、びつたりとくる学び方にまだ出会えていない人も多いだらう。この本は、「学ぶ楽しさを知ってもらいたい」という筆者の願いから、理屈よりも実際に役立つ具体性を重視して書かれている。

討議学習など、生涯学習の展開方法については、図が数多く収録され、わかりやすい。視聴覚教育に永く携わってきた筆者ならではの本書であるといえよう。

本全体のおもな内容としては、題名のとおり方法論を骨子としており、生涯学習の形態・方法について網羅的かつ簡潔に説明している。具体的には、集団学



習と個人学習、情報メディアの利用、ボランティア活動を含む体験学習などについてである。そこでは、生涯学習の基本は一人ひとりの個人で、個人が創り出す教育（学習）なのであり、与えられる「教育」ではないという考え方に貫かれている。

一方、「指導者」については、大人の学習はもとより相互に学び合うことが基本であり、生涯学習に関係する人々を指導者と呼ぶのは適切ではないとして、「生涯学習支援者」としての役割等について述べている。

なお、巻末には「社会教育史年表」が「三頁に及んで細かい字でビッシリと収められている。これも生きた社会教育の流れをつかめる労作となっている。

（西村 美東士）

土橋美歩著「生涯学習の方法—学ぶ人と援助する人のマニュアル」
H11.2.1/日本視聴覚教育学会
視聴覚教育53巻2号